

選挙の投票年齢が18歳以上になること・湯西川中学校に出張授業に行ってきたこと

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
以前の放送で、来年の参議院選挙から投票年齢が18歳以上になるため、有権者になる方は今から準備したほうがよいのではないかとお話ししました。これは個人的な考えですが、投票年齢が18歳以上になるのであれば、議員に選ばれる権利、つまり被選挙権も、投票年齢に合わせて18歳以上にしたほうがよいのではないかと私は思います。
2. このような意見を持っていることを、ある勉強会でお会いした津田大介さんという方にお話ししました。私はあまりテレビを見ないので存じ上げていませんでしたが、津田さんはテレビにもご出演なさっている有名なジャーナリストで、メディア・アクティビストの方です。
津田さんは、私の考えに大賛成だとおっしゃってくださいました。そこで、なぜですかとお聞きしたところ、様々な選挙では無投票当選なさる方がいらっしゃいますので、無投票選挙だけは避けたいということでした。若くて元気な志の高い方に選挙に関心を持っていただきたい。そして、元気で志の高い方に立候補していただくことも大事なのではないかとお話しされました。
3. また、選挙に出ることをもっと促進するために、供託金についてのお話をお聞きしました。今の供託金は少し高すぎるため、供託金をもっと低く設定したり、他国のように供託金をなくしたりするというご提案いただきました。政治への関心を高め、棄権をなくし、無投票の地域をゼロにすることにつながる素晴らしい考えだと思い、私も賛成ですとお話ししました。
政治家を目指す志の高い人たちを応援し、年齢はあまり関係ないかもしれませんが、若い方にも関心を持っていただく。そして、積極的に発言したり投票に行ったりする。さらに関心のある方は選挙に出ていただきたい、このように思います。
4. 選挙に立候補する場合は、勤めている企業や職場に辞表を出したり、離職したりしなければならない場合が多いです。ですから、立候補する際には辞表を出したり職を失ったりすることがないように企業や職場を作ったらどうかということを津田さんにお話ししたところ、そのことに大賛成ですのでがんばってやってくださいといわれました。
5. 開倫塾は小さい会社ですが、投票に行くことを皆さんにお勧めすると同時に、皆さんの代表として活躍したい方はがんばって選挙に出ていただきたい、その際には離職しなくても大丈夫ですということを職員の方にお話ししました。

全員が当選するわけではありませんので、背水の陣で出ることは辛いと思います。会社としては応援し、もし当選しなかった場合には会社に戻れる、任期を全うしたときには復職できる、このような会社を少しずつ増やしていけたらいいと思います。私もこの考えに賛同していますので、そのような会社にしていきたいと考えています。

以上、選挙の投票年齢が 18 歳以上になるという以前の放送内容に追加してお話をさせていただきました。

6. さて話は変わりますが、先週の 11 月 26 日木曜日に、公益社団法人栃木県経済同友会からの要請で、中学校に出張授業に行ってきましたので、そのことについてお話をさせていただきます。

私は、栃木県経済同友会、群馬県経済同友会、東京の経済同友会に入らせていただいています。その中に、経営者を無料で中学校に派遣するプログラムがあり、仕事についての話などをさせていただいています。年間に 20 回ぐらいあちこちに行っています。

9. 今回は日光市立湯西川中学校に行ってきました。湯西川中学校は非常に特色のある学校です。その特色の 1 つは、全校生徒が 8 名だということです。中学校 1 年生が 2 名、中学 2 年生が 4 名、中学 3 年生が 2 名です。規模は小さめでしたが、とても素晴らしい学校でした。小学校と中学校を併設した学校で、建物も素晴らしいです。校長先生にお願いして、出張授業の前に校内を見学させていただきました。図書室は小学生用と中学生用が別々にあり、会議室や教室、そのほかの施設もとても整備されていました。

先生方もとても熱心に教えていらっしゃいました。1 学年が 2 名から 4 名ですが、先生方は子供たちのために一所懸命に準備をしていました。手作りのプリントを作ったり、1 人ひとりにわかりやすい授業をしたり、質問を受けたりなど、これ以上ないくらいに本当にきめ細かな教育をされていました。

9. 話が前後しますが、少し早めに行ったため 1 時間くらい時間がありましたので、湯西川中学校に行く手前の道の駅湯西川に寄りました。10 分ほど足湯につかり、展示室を見ていたら、中学生 8 名全員が書いた書道や絵画、イラストが飾ってありました。どれもとても上手でした。ユネスコの「わたしの町のたからもの」という展覧会で入賞した作品もありました。どのようにしたらこんなに素晴らしい作品が生まれるのかと思いながら学校に向かいました。

10. 小学校の図画工作の授業は複式学級で、2 学年が一緒でした。見学させていただくと、各学年 2 ～ 3 名の生徒さんに先生が手を取るように一所懸命教えていらっしゃいました。おそらくこれ以上の教育は難しいのではないかと思うほど素晴らしい教育をなさっていましたので、今回ご紹介させていただきました。

もしどこかへ転校される方がいましたら、湯西川中学校をお勧めします。栃木県の中にも熱心に教育なさっている学校はたくさんあると思います。しかし、私が見学をした中では、これ以上きめ細かな教育をされている学校はありませんでしたので、推薦させていただきます。小規模学校も生徒さんが増えるともっともっと活性化し、今とは違う素晴らしい教育ができると思います。ぜひよろしくをお願いします。